

日中友好新聞  
あかやま

読字 萩原田 親

No. 632

2011/3/15

日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒110-0005 東京都千代田区千代田  
南千代田1-1-1 東武ビル3階

日中友好協会  
岡山支部  
〒710-8236  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL:0861272-3010  
郵便番号11所  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8911  
倉敷市連島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://izhong.web.infoseek.co.jp  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 第36回中国料理教室

### 高島公民館で開催

日中友好協会岡山支部の第36回中国料理教室を3月6日に岡山市高島公民館で開催、18名が参加しました。

講師は黄艶萍さん（中国蘇州出身）、黄さんは、母は冷蔵庫にある材料で素早く作り食卓へ出してくれました。今回は春節料理を希望と言われましたが、時間に制約があるので脂っこい食事が続く春節に母が必ず作ってくれた身体にやさしい野菜料理にしました。と前置きし、来日8年目の流暢な日本語でレシピの説明は勿論、料理の特徴や地方により素材や味付けの違いなども区切り毎に説明して下さいました。



Ⅱ 献立Ⅱ

① 蛋餃子 卵焼き皮の餃子にホウレン草をのせ蒸し煮。

私達におなじみの強力粉で作る餃子は、北の方の料理で南の方はあまり作らない。蘇州は粉で作る習慣がない。

② 蚝油生菜 レタスのオイスターソース和え。

中国では生野菜はほとんど食べない。レタスもその他の野菜も湯通しするとたっぷり食すことができる。

③ 胡麻団子 円満という意味。春節には欠かせません。

④ 主食 日中会員提供の天干米（秋田こまち）。

## 高島公民館の文化祭で

### 日中女性サロンと

### 高島日本語教室の活動を紹介します

### 写真を展示

2月26日、27日、高島公民館の文化祭で日中女性サロンと高島日本語教室の活動を紹介します。また、高島公民館で開催予定の「中国引き揚げ65周年記念企画の漫画展」の予告が、掲示されていました。

日中友好協会岡山支部は、昨年6月の支部総会や今年3月の中国料理教室を高島公民館を会場に開催しました。日常的には、週2回中国帰国者の日本語教室の開催場所として、利用しています。今後も高島公民館とは、良好な関係を続けていき、さらに、ほかの公民館、福祉交流プラザとも連携をとりながら「地域に根ざした、日中友好運動をすすめていきたい。」と思います。



Ⅱ 参加者の声Ⅱ  
・中国語講座で学んでいる生徒さんは中国語で自己紹介……餃子は粉でつくるものと思っていた。これなら簡単、早い、私も作れる。  
・ホウレン草でなくてもいいの？（いいそうです。）  
・レタスは生で食べるものと思っていた。一玉買って全部使い切れるね。  
・ヘルシーなおなが一杯になった。

Ⅱ ハッピングと反省Ⅱ  
講師の説明の前に、この料理は知っていると先に進んだため違った一品ができた食材が余ったテーブルがありました。  
担当者として目配りが足りず反省をしています。材料の確認から「洗う、切る」も料理教室の一環です。  
参加者の方々も講師の説明を聞いてから料理に取り掛かってくださいね。  
中国料理担当 西森文子

## 劉 曉波 （ノーベル平和賞） という人

季刊中国No.104は中国の教育の現状と課題という特集号ですが、劉さんの著書「良心に嘘をつく民族」(2002台湾)の翻訳をおして、彼の思想が紹介されていて非常に興味深い。ぜひお読みください。

たとえば、いわくアメリカは…いかなる国家のほんのわずかな土地さえも占領せず…アメリカの対外派兵は、大部分が弱小民族・人種を保護し、アメリカが国際警察の役割を果たさなかったとすれば、ほかに一体どの国が面倒な人の嫌がる重責を担うことを願うだろうか。」と。

竹内和夫

# 『太極拳』劣等生のひとりごと パート①

小坂信代

## 続けることが大切だ！

かけついで一度もテープを切ったことのない私。球技もまるでダメ！

そんな私が太極拳を始めました。近所の青木さんが太極拳の指導をされているのを知っていたので入会しました。

日中友好協会の主催とはまったく知らないままでの参加でした。

日中友好協会の稲葉さんから太極拳始めたのね」といわれて何であなたが知ってるの？」と驚いたほどです。

太極拳を始めてから1年近く、時々両親の介護や組合の会議などで参加できない時もある

りますが、せつせと通っています。

ところがまったく覚えられないのです、まいかい手取り足取り指導してもらっても頭も体もついていかないので。

一番の楽しみは、準備体操と整理体操です、体中の細胞にフツと空気が入って行くのを感じます。帰宅してからは決して同じようには出来ないのですが、ゆつくり体を動かすのは好きになりました。ちっとも覚えられないよー」と言いながらもとにかく続けて居るだけでもえらい！と自分をほめています。

## 岡山市東公民館の文化祭

3月5日、東公民館の文化祭で帰国者の高杉久治さんが二胡の演奏に出演しました。

「二胡を楽しむ」という目的で始まった同好会もこの3月でまる4年になるそうです。春の小川」や「浜千鳥」知床旅情」や「少年時代」など、どれも懐かしく旅情あふれる曲が続き、聴きほれました。どの方も昨年より一段と上達され、演奏にも力が入っています。

中国の童謡「小燕子」ではなく高杉さんが合奏をバックに中国語で独唱。ろうろうと歌い上げる高杉さんの声が二胡の

音色とマッチして、なんともいえない心地よい響きでした。会場の片隅で見つめる好恵さん(おくさま)はこの曲はよく聴いています。家でよく練習しているから」とにっこり。中国は今雪解

けの季節ですが、今年の中国は特に寒くてマイナス36℃にもな

つて大変寒かったと、かの地に思いをはせながら聴き入ってお

られました。同好会の9人のメンバーに自然に溶け込み、一心に弾きつづける高杉さんに、あらためて魅了されたひとときでした。

成田

## あこがれの香格里拉(シャングリラ)

②

真田紀子

2日目、昆明から国内線にて空路シーサンパンナ(景洪)へ移動しました。昆明は雲南省の省都です。雲南省は中国の南に位置し、ベトナム、ラオス、ミャンマーに接しています。シーサンパンナはその中でもっとも南に位置し、メコン川を下ればすぐにラオスに抜ける位置にあります。その飛行機の中で、たまたま現地の全線ガイドの阮さん(男性)と隣り合った席になりましたので、色々とお話

度ぐらいいしかガイドの仕事がないので、翻訳の仕事などのアルバイトで生活を支えているということでした。中国の教育事情について、今の大学はもうけ主義に走っていて、学生数が増えている。国直轄の有名大学は地元の人有利になっていて、地元以外には人数の割り当てがある。そのため北京などへ移民して受験したりする人がいるから、3年以上居住していないと受験できないようになった。3月26日に発生した韓国哨戒艦沈没事件について、中国人の間では北朝鮮の仕業だとはほとんど人は思っていない。アメリカの策略だと思っ

## 仲間づくり 推進コーナー

昨年12月に高教組と高退教が主催した「退職予定者のつどい」が開催されました。

私は高退教の一員として参加し、退職後の柱に「日中友好運動に取り組んでいる」などの体験を話しました。つどいの参加者で、その後日中のカレンダーを3部買ってくれたO先生に、日中友好新聞の購読を電話でお願いし承諾して頂きました。

O先生は以前、後楽館高校在職中に生徒と中国研修旅行に参加したことなど中国に大変関心を持っていると話されました。

2月5日発行のNO.628号からこのコーナーが設けられました。いつ拡大が途切れるか心配しながら今号までつづいています。各会員からのうれしい便りを待っています。

日中友好協会岡山支部 事務局長 小林軍治



昆明国際空港



稲葉 吹  
小林 和  
小竹 内  
深井 袈  
三垣

次回の新聞発送作業は  
3月22日(火)午後1時半  
民主会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方です。